

3 年 国 語 ④





授業の約束

- 書いてある内容をじっくり考えるときや、問題を考えるときは、一時停止マークをクリックし、内容を理解したり、問題を解いたりしてから、次の画像に進もう。

- 最後のまとめの部分は、国語のノートに写しておこう。(黒板に書いたもの)



品詞（単語）

「品詞」について復習しましょう。

単語

↓
品詞

文節をさらに細かく分けた、最小の言葉の単位で、文法上の性質や働きによってまとめられたものをいいます。全部で十種類。

名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞

名詞

自立語で活用がなく「が」をともなって主語になります。
体言ともいいます。

【名詞の種類】

普通名詞……一般的な物事を表します。

固有名詞……人名、書名、地名、国名など特定のものの名を表します。

数詞……数量や順序を表します。

形式名詞……実質的な意味をもたず、形式的に使われま
す。ひらがなで書きます。

代名詞……物事（人・物・場所・方向）を指し示します。



それでは問題を解いてみましょう。

★次の傍線部の名詞の種類を○普○固○数○形○代に分けてみましょう。

①校庭にいる人、五時になったら帰りましょう。

②村上春樹の本は、ぼくの愛読書の一つです。

③きみの言っていることがわからない。

ヒント

*固有名詞は世の中に一つしかないもの。「市川市立第八中学校」とか「ドラえもん」とか。

*数詞は数に関係しているもの。

*形式名詞は必ずひらがな表記。

*代名詞は英語の授業で出てきますね。



答えは……

音

音

数

①校庭にいる人、五時になったら帰りましょう。

固

音

代

音

数

②村上春樹の本は、ぼくの愛読書の一つです。

代

形

③まみの言っていることがわからない。

……となります。

*わかるものから答えていくと、他のものも考えやすくなります。



動詞

物事の動作・作用・存在を表し、**ウ段の音**で言い切る単語。「**まじめる**」「**ある・いる**」

形容詞

物事の性質や状態を表し、言い切りの形が「**い**」で終わる単語。「**どんなだ**」

形容動詞

物事の性質や状態を表し、言い切りの形が「**だ、です**」で終わる単語。「**どんなだ**」

※この三つの品詞を合わせて、「**用言**」といいます。用言は、自立語で活用があり、それだけで「述語」になります。

※用言については次の回で詳しく学習します。

副詞

↓ **連用修飾語** 主に「用言」を修飾し、「**よのよひに**」「**よるはら**」を表します。

【副詞の呼称】副詞「よ」って後に「く」言葉が決まります。

たぶん…でしよう **まるで** …もうた **決して**…ない

もし…たら… **なぜ**…か **まさか**…まい

連体詞

↓ **連体修飾語** 必ず「体言」を修飾し、「**よの**」「**どんな**」を表します。

この例の 大きな いろんな 大それた
たいした ある 去る ……など

連体詞は数が少ないから覚えてしまおう。



さあ、問題を解いてみましょう。

★次の傍線部が副詞であれば㊦、連体詞であれば

㊧と書きなさい。

①とてもきれいになった。

②おかしな事件があった。

③二人は大の仲良しで、いろんなことを話し合った。

④この土地にすっかり慣れたので、もうどこにも行きたくない。

副詞

*副詞は用言を修飾するから、「よくのみ」「よく」とか、「よく」のくらい」「よく」とかを表します。

*連体詞は体言を修飾するから、連体詞の後にあるのはたいてい名詞になります。



「

答えは……

① **副** (「**まじ**」) **副** (「**まじ**」) **副** (「**まじ**」) **副** (「**まじ**」)

② **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」)

③ **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」)

④ **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」)

① **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」)

② **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」)

③ **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」)

④ **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」)

⑤ **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」) **連** (「**まじ**」)

……になります。



接続詞

前後の事柄をつないでその関係を示す
単語。接続詞の後は「、」「の」が多い。

感動詞

独立語としてのみ使われ、感動・呼びか
け・応答・あいさつを表す単語。文頭に
ある場合がほとんどで、「下」「上」「や
」「が」が来ます。

以上、八つの品詞は**自立語**

※自立語は、それだけで意味のわかる単語

ちなみに、

付属語

自立語と一緒にになって文節を作る単語
それだけでは意味がわからない

※付属語は、助詞と助動詞の二つだけ

※付属語は第六回で学習します。



問題を解いてみましょう。

★次の各組の中から、品詞の異なるものを一つ見つけて、記号「O」を付けなさい。

- ① ア 寒さ イ 楽しみ ウ 悲しい エ じいさん
- ② ア 建てる イ 起きる ウ 伸びる エ いわゆる
- ③ ア 大きな イ 静かな ウ 平和な エ のどかな
- ④ ア すこし イ そして ウ つまり エ けれども
- ⑤ ア これ イ そこ ウ あんな エ どなた

ヒント

*考え方としては……

・活用するかしないか。「する」なら「用言」の三品詞のどれか。「しない」ならそれ以外。「が」を付けて主語になれば「名詞」、「修飾語」になるなら「連体詞」か「副詞」、「接続語」なら「接続詞」、「独立語」なら「感動詞」



答えは……

- | | | | | |
|---|--|-------|--|---|
| ① | ア 寒さ | イ 楽しみ | <input checked="" type="radio"/> ウ 悲しい | エ じころ |
| ② | ア 建てる | イ 起きる | ウ 伸びる | <input checked="" type="radio"/> エ いわゆる |
| ③ | <input checked="" type="radio"/> ア 大きな | イ 静かな | ウ 平和な | エ のどかな |
| ④ | <input checked="" type="radio"/> ア すこし | イ そして | ウ つまり | エ けれども |
| ⑤ | ア これ | イ そこ | <input checked="" type="radio"/> ウ あんな | エ どなた |

……となります。

*次のページの内容を国語のノートに写しましょう。

*今回は、「用言」に焦点をあて、その「活用」について学習します。

*今回の範囲は、「文法ノート」のP38～P65(P42～P57は除く)の内容になります。復習しておきましょう。

「品詞」

単語 → **品詞** → 文節をさらに細かく分けた、最小の言葉の単位。

文法上の性質や働きによってまとめられたものをいう。

名詞 自立語で活用がなく、「が」をともなう主語になる。

体言ともいう。(種類 → **普通名詞**・**固有名詞**・**数詞**・**形式名詞**・

代名詞)

動詞 物事の動作・作用・存在を表し、**ウ段の音**で切れる単語。

形容詞 物事の性質や状態を表し、**言い切りの形が「い」「は」**で終わる。

形容動詞 物事の性質や状態を表し、**言い切りの形が「だ、です」「**

で終わる。

※「動詞」「形容詞」「形容動詞」の三つを**用言**ともいう。用言は活用がある。

副詞 **連用修飾語** 主に「用言」を修飾する。

連体詞 **連体修飾語** 必ず「体言」を修飾する。

接続詞 前後の事柄をつないでその関係を示す単語。

感動詞 独立語としてのみ使われ、感動・呼びかけ・応答・あいさし

を表す単語。

助詞 いろいろな単語の後に付き、関係を示したり、意味を付け加え

たりする単語。**活用がない**

助動詞 主に用言に付き、いろいろな意味を添える単語。**活用がある**

※自立語 → 名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞

付属語 → 助詞・助動詞

